

第4学年 社会科学学習指導案

日時 平成16年9月3日(金) 研究授業

場所 4年3組 教室

児童 4年3組 32名

授業者 佐藤 和佳子

1 単元名 「昔のくらしとまちづくり」

2 単元の目標

地域の人々の生活について、古くから残るくらしにかかわる道具、それらを使っていたころのくらしの様子及び地域に残る文化財や年中行事について調べ、地域の人々の生活の変化や人々の願いについて考えることができるようにする。

3 単元について

(1) 教材について

本単元は、学習指導要領第3学年4学年の内容、「地域の人々の生活について古くから残るくらしにかかわる道具、それらを使っていたころのくらしの様子及び地域に残る文化財や年中行事について、見学、調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする」を受けたものである。

初めて自分が生まれる以前の人々の生活にふれる単元であり、人々の衣食住などの生活の変化を今も残る道具を手がかりに調べ、当時のくらしの様子や地域の人々の生活の移り変わりに気づかせることをねらいとしている。今の自分たちの生活が、昔から地域の人たちの工夫や努力によって支えられてきたことを知る大切な学習である。また、地域社会を大切にすることを育てることに適した単元でもある。こうした昔の人々の知恵や願いについて学習することは、人々の生き方にもふれ、地域社会に対する誇りや愛情を育むことにつながるものと考えられる。

本単元で身につけるべき基礎・基本

古い道具と昔のくらしについて、ふるさと伝承館へ行ったり祖父母や周りの人々から聞いたりして調べ、その結果を絵カードや絵年表にまとめる力をつける。

昔の人々のくらしの様子を思い浮かべたり、よりよいくらしを願った昔の人々の気持ちについて考えたりすることができる。

自分たちの現在のくらしは、よりよいくらしを願う人々の努力と工夫の積み重ねによって発展してきたことを理解する。

(2) 児童について

7月に実施した意識調査から、社会科の学習を「好き」または「どちらかというと好き」と答えた子どもは90%であった。好きな理由としては「見学や調査が楽しい、地図帳で県名や県庁所在地を探ることや新聞作りが好き」などがあげられている。

問題解決的な学習に関しては、課題に対して予想をたてたり、調べる方法を自分で選択したりする活動に意欲的に取り組む子がほとんどであり、調べ学習が好きである。反面、グラフや表などの資料の読み取りが苦手な子や、十分に課題解決ができない子や、調べたことを整理してまとめる活動が不十分な子もいる。

学び合いについては、1学期当初は自分で調べたことや考えたことをみんなに発表することはたいへんためになると思っていながらも、発言する子がやや固定化している実態であった。そのため、話し合いの手順を提示し、グループでの話し合いの場面を多く設け、話すことに抵抗がなくなるよう取り組んできた。その結果、全体の場ではなかなか自分の意見が言えなかった子も、少人数というグループの中で意欲的に話し合いに参加できるようになってきた。

本単元を学習するにあたって、子どもたちに事前調査をした。祖父母と同居家庭は33%、祖父母から昔の話を聞いたことがあるという子は21%であることから、核家族化が進み、祖父母とふれ合う機会が少なくなっている実態である。また、昔の生活道具の名前や使い方については、かまどの名前は40%、使い方は31%、火鉢の名前は6%、使い方は15%の子が知っていた。昔の生活道具についてはあまり知識がないことがわかった。このような実態をふまえ、本単元では、祖父母に昔のくらしの様子や当時使っていた道具について聞き取り調査をしてふれ合う場を設け、さらに実際に見たり触れたりする体験活動も取り入れていきたい。

(3) 指導について

単元のつかむ過程では、金ヶ崎の昔の写真を提示し、いつ頃のどこの写真なのか予想させる。また、現在と昔の写真を比べて相違点や共通点を探る活動をし、昔のくらしについて意識づけを図りたい。さらに、昔の人たちがどのようなくらしをしていたのか疑問点を出し合い、道具を調べることを通して、昔の生活や生活の移り変わりについての学習を進めていくために、グループの課題作りや調べ学習への意欲を高めていきたい。

しらべる過程では、祖父母や父母などから昔のくらしの様子や当時使っていた道具の名前や使い方について聞き取り調査を行ったり、ふるさと伝承館へ行き古い道具を自分の目で実際に見たりしながら、多様な方法で調べ学習を進めていく。調査後は、道具が使われていた時期を三つに分類し絵カードにまとめさせる。自分の祖父母や父母が小さかったころの様子を実際に聞くことにより、生活の中の喜びや苦勞などの気持ちの面も共有させたい。その後は、道具の移り変わりを整理し、それに伴って、仕事やくらしがどのように変わったのかを話し合う場面を設定する。道具の移り変わりとともに、くらしが便利になってきたことをおさえさせたい。また、くらしの裏側には、常に人々の願いがあることを明確にし、それが生活変化の原動力になっていることも捉えさせたい。

まとめる過程では、グループごとに絵年表作りをする。年表を三つの時期に分け、絵カードを古い順に並べ、仕事や社会の様子を記入し、それぞれの移り変わりを絵年表にまとめていく。各事象を三つの時期に位置づけることで、移り変わりの様子や時間的距離を捉えさせたい。

ひろげる過程では、まちに残る古い建物や記念碑、行事などを調べ、昔の人たちがくらしのなかでどんなことを願っていたのか、次単元につなげるためにも問いをもつことができるようにさせたい。

評価については、各過程の指導において、単位時間ごとの評価表及び、座席表を活用して、児童の変容を捉え、個に応じた指導に生かしていきたい。また、単元を見通した自己ふりかえりカードを活用し、児童に見通しをもたせるとともに、意欲の継続を図るコメントの記入をしていきたい。

—— 学び合いについて ——

一斉、グループでの学び合いの形態を臨機応変に取り入れ、調べたことを自分の考えとなる根拠をもとに発表させ、友達の考えのよさや違いについて気づく力を養っていききたい。

4 単元の指導・評価計画 (本時6時/7時間)

単 元	【単元の目標】 ・ 地域の人々の生活について、古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていた頃の暮らしの様子および地域に残る文化財や年中行事について調べ、地域の人々の願いについて考えることができるようにする。	関心・意欲・態度	社会的思考・判断	観察・資料活用の技能表現	知識・理解
	・ 昔の道具、それらを使っていたころの暮らしの様子に関心をもち、道具や文化財、地域に残る年中行事について調べようとする。	・ 道具の移り変わりやより便利でより安全な道具ができた過程を調べ、人々の願いについて考えたり、暮らしがどう変わったのかを考えたりできる。	・ 道具調べを通してわかったことを絵カードに自分なりに工夫してまとめたり、今に残る史跡や資料からわかったことを年表や絵地図に整理することができる。	・ 人々の暮らしが変化してきていることや、人々がよりよい暮らしを願い、工夫や努力をしてきたことを理解したり、人々の暮らしが向上してきたことがわかる。	

過 程	単位時間ごとの計画			上段 評 価 規 準				支 援 計 画	
	小単元	時	目 標	学習内容・活動	関心・意欲・態度	社会的思考・判断	観察・資料活用の技能・表現		知識・理解
つ か む	オリエンテーション ・問題を把握する。	1	・昔の人たちのくらしについての疑問点を話し合い、調べる意欲をもつことができる。	・金ヶ崎の昔の写真を見て、今と昔の写真を比べ、変わったところや変わらないところを調べる。 ・昔の人たちのくらしについての疑問点をグループで話し合う。	・昔の人たちのくらしについての疑問点を見つけ、調べる意欲をもとうとする。 昔の人たちのくらしについての疑問点を自分の生活と関連させながら見つけ、調べる意欲をもとうとする。 昔の人たちのくらしについての疑問点を見つけ、調べる意欲をもとうとする。 (行動観察)		・今と昔の写真を比べ、共通点や相違点を見つけている。 今と昔の写真を比べ、同じところや違うところを見つけ、疑問点を整理している。 今と昔の写真を比べ、同じところや違うところを見つけている。 (ノート、行動観察)		グループの友達の意見を参考にさせ、疑問をもたせる。 土地の使い方や、道路の様子はどうかなど視点を与える。
	・予想する。 ・調べる計画を立てる。	2	・整理した自分の疑問点の解決方法を見つけ、調べる計画を立てることができる。	・整理した自分の疑問点について予想を立てる。 ・予想したことをもとにグループで話し合う。 ・話し合ったことをもとに課題をつくる。	・調べる計画を立てることができる。 根拠のある予想や、見通しのある課題をたてようとしている。 予想し、課題をたてようとしている。 (行動観察・ノート)				疑問点はどんなだったかを確認し、結果の予想をたてさせる。
し ら べ る	(1)昔の道具体験コーナー ・調べる	3 ~ 4	・ふるさと伝承館を見学して、昔使われていた道具に関心をもち、調べることに、絵カードにまとめることができる。	・ふるさと伝承館を見学して、展示されている昔の道具を調べるとともに、道具が使われていた時期を4つに分け、絵カードにまとめる。 ・昔の道具を実際に使いながら、道具の名前や使われていた時期、使った感想を絵カードに表す。 ・古い道具が使われていたころの暮らしの様子を、家の人やお年寄りにたずねて調べる。	・展示資料を調べたり、試したりしようとする。 また、調べた昔の様子を絵カードにかき表そうとする。 昔の道具に関心をもち、使ってみながら、その道具が使われていたころの暮らしの様子を調べようとする。 また、調べたことを絵カードにかき表そうとする。 昔の道具に関心をもち、使ってみたり、調べてみたりしようとする。また、調べたことを絵カ		・ふるさと伝承館を見学し、昔使われていた道具とそれを見た感想を絵カードに表す。 道具を絵カードにかき表し、使われていた時期を記入することとができることに、実際に使ってみた感想を詳しく記入することができる。 道具を絵カードにかき表し、使われた時期を記入することができる。 (絵カード)		昔の道具を実際に手にとって観察したり、使ってみたりすることができるようにする。 昔の道具を使ってみた感想を思い出させ、絵カードに記入させる。

				ードにかき表 うとする。 (行動観察・絵 カード)				
ま と め る		5	・道具を通して、昔の人々のくらしについて気付くことができるようにする。 ・祖父母の時代のくらしと今のくらしとを比べるとどんなところが違うか考える。		・古い道具が使われていたところのくらしの様子について考える。 ・今と昔の道具を比べ、昔のくらしの様子がわかり、それぞれの時代のくらしのよさについて考えることができる。 ・今と昔の道具を比べ、昔のくらしについて考えることができる。 (ノート・発表・行動観察)		手がかりとなる古い道具の写真や絵カードを提示し、使い方を確認し、今の道具の使い方と比較させる。	
		6 (本 時)	・道具の絵カードを古い順に並べるとともに、仕事や社会の様子についても調べて、それぞれの移り変わりを絵年表にまとめ、くらしの移り変わりについて考える。 ・これまで調べてきたカードを3つの時期に分類し、年表に貼付するとともに、仕事の欄を記入する。 ・仕事や社会の様子について、欄に記入する。 ・暮らしの移り変わりに関して考える。		・昔から現在までのくらしの変化について考える。 ・道具を3つの時期に分類するとともに、その道具が使われていた頃の暮らしと関連づけて考えることができる。 ・道具を比較しながら、古い順に3つの時期に分類することができる。 (行動観察・ノート)		用途が同じ道具の、どこがどのように違っているかを具体的に示しながら考えるようにする。	
ひ ろ げ る	(2)ま ちに伝わ る昔コー ナー ・ひろげ る	7	・地域に残る古い建物や記念碑、行事などを調べ、人々の生活の変化や人々の願いについて考える。 ・地域のお祭りの由来を調べ、地域の人たちの願いに関心をもつ。 ・地域に残る古い建物や記念碑、行事などを調べ、昔の人はどんな願いをもっていたのかを考える。 ・調べたことをパネルにして多くの人たちに見てもらおう計画をたてる。		・地域に残る古い建物や記念碑、行事などについて考えることができる。 ・地域に残る古い建物や記念碑、行事などをもとに昔の人々の暮らしぶりや願いについて考えることができる。 ・地域に残る古い建物や記念碑、行事などの由来を考えることができる。 (発表・ノート)		・地域に残る古い建物や記念碑、行事などについて理解できる。 ・地域に残る古い建物や記念碑、行事などから、昔の人々の暮らしぶりや願いがわかる。 ・地域に残る古い建物や記念碑、行事などがわかる。 (発表・ノート)	古い建物や記念碑、行事などの由来が書かれた、読み取りやすい資料を提示する。 実際に地域を歩いて調べられるようにする。

5 本時の指導

(1) 目標

昔の人たちの暮らしについての疑問点を話し合い、調べる意欲をもつことができる。

(2) 評価規準・具体的評価規準

評価規準	具体的評価規準	
	十分満足できる状況	おおむね満足できる状況
【技能・表現】 今と昔の写真を比べ、共通点や相違点を見つけている。	今と昔の写真を比べ、同じところや違うところを見つけ、疑問点を整理している。	今と昔の写真を比べ、同じところや違うところを見つけている。
【関心・意欲】 昔の人たちの暮らしについての疑問点を見つけ、調べる意欲をもとうとする。	昔の人たちの暮らしについての疑問点を自分の生活と関連させながら見つけ、調べる意欲をもとうとする。	昔の人たちの暮らしについての疑問点を見つけ、調べる意欲をもとうとする。

(3) 本時の展開

過程	学習内容・活動	指導上の留意点	評価と支援
つ か む / し ら べ / る / る	<p>1 金ケ崎の昔の写真を見て話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白黒写真だから、おじいちゃんやおばあちゃんが子どもの頃かな。 <p>2 金ケ崎の今と昔の写真を比べ、変わったところや変わらないところを調べる。</p> <p>変わったところ 変わらないところ なぜ変わったか(原因)</p> <p>3 調べたことについて、話し合う。</p> <p><変わったところ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい店や民家ができた ・昔は砂利道だが、今は道路がほそうされている <p><変わらないところ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔も今も商店街がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・昔の写真を提示し、いつ頃のどこの場所の写真なのか予想させる。 <p>金ケ崎の今と昔の写真</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べる手順を確認する。 ・土地利用や交通の様子など、社会的見方で比べさせたい。 	<p>【技能・表現】 今と昔の写真を比べ、共通点や相違点を見つけている。 (ノート, 行動観察)</p> <p>なぜ変わったのか、原因も考えさせる。 共通点や相違点を見つけられた子には、疑問に思ったこともまとめさせる。 土地の使われ方や、道路の様子はどうかなど視点を与える。</p>

<p>ま と め る 40 分</p>	<p>4 学び合う。 「昔の人たちの暮らしにつ いての疑問点」をグルー プで話し合う。</p> <p>5 話し合ったことを発表す る。 ・どのように洗濯をしていた か。 ・ご飯の炊くのときの道具は 何か。 ・今は水道があるが、昔はど うだったのか。</p>	<p>【学び合いの形態】 グループ</p> <p>【学び合いの視点】 「昔の人たちの暮らしにつ いての疑問点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの手順を確認し 円滑に話し合い活動がで きるようにさせる。 「話し合いの手順」を提 示する。 ・自分たちの考えと、他の グループの発表の相違点 を意識させながら聞くよ うに促す。 	<p>【関心・意欲・態度】 昔の人たちの暮らしに ついての疑問点を見つ け、調べる意欲をもとう とする。（行動観察）</p> <p>グループの話し合いで 積極的に自分の考えを 出すよう促す。 現在の生活と関わらせ て考えさせる。 グループの友達の意見 を参考にさせ、疑問を もたせる。</p>
<p>ひ ろ げ る 5 分</p>	<p>6 学習をふりかえる。 ・ふりかえりカードに記入 をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学び合いの場面などで、 友達の考えで参考になっ たことを発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学びをふりかえら せ、次時への意欲をもた せていく。

(4) 板書計画

<p>昔の写真</p>	<p>今の写真</p>	<p>「昔の人たちの暮らし」のぎ問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのように洗濯をしていたか。 ・ご飯の炊くのときの道具は何か。 ・今は水道があるが、昔はどうだったのか。 ・電気はあったのか。
<ul style="list-style-type: none"> ・じゃり道 ・木ぞうの家や店 ・着物を着た人 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほそう道路 ・新しい店や家が ならんでいる 	